

神戸市の見直しの考え方を聞く

2009.9～10
同「考え方」の
説明会開催



2009.11
地域としての
見直し方針案の
検討会

地域住民の道路への思いをまとめる

2010.2～3
塩屋多井畑線・
1つの提案に
まとめる会開催



2010.5
塩屋多井畑線・地域に
よる整備の考え方
(案) 提示

神戸市
都市計画
総局

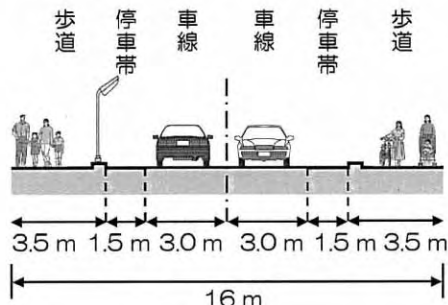
2009年6月 神戸市より「塩屋多井畑線」の見直しの考え方提示

塩屋多井畑線の見直しの基本的な考え方

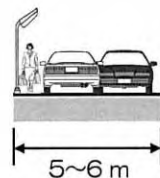
「推進会」からご提出いただいた『構想』をはじめ、地域のみなさまのさまざまなご意見等をふまえて、塩屋多井畑線の計画の見直しにあたっての**基本的な考え方**をとりまとめました。

- (1) 歩行者の安全を守るために、両側に歩道を整備する。
- (2) 高低差のある複雑な地形やまちなみの保全等に配慮して、現在の道路をできる限り活用することとし、道路の計画幅員を見直す。
- (3) 通勤・通学など、自家用車による駅への送迎やバスなどに対応するため、駅の近辺に回転地を設ける。
- (4) 地域の主要な交差点には、右折車線を設ける。

見直し前の計画幅員（16m）



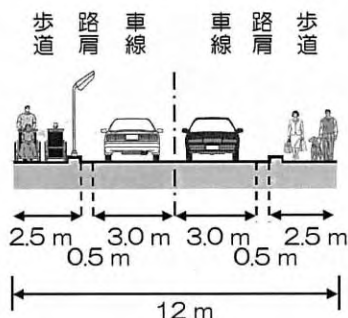
現況の幅員（約5～6m）



↓ 計画幅員を16m（2車線）から12m（2車線）に見直します。ただし、地域の主要な交差点では、右折車線を設けるため、幅員15mとします。

見直し後の計画幅員

一般部（12m）



主要交差点部（15m）

